

# 水道

---

1	沿	革	269					
2	事	業	概	要	271			
3	料	金	及	び	加	入	金	272
4	経	営	状	況	273			
5	職	員	数	及	び	給	与	274
6	施	設	275					



## 1 沿 革

水道の創立は遠く明治22年、市制の施行により上水道設置の要望が高まり、明治43年水源地調査費を予算に計上、調査の結果八景水谷を水源地とし、立田山を配水池とする旨の結論を得た。しかしその後水利関係にからむ地元民の猛反対等で候補地も再三変更を余儀なくされ、交渉は困難を極めたが、大正13年3月ようやく地元民との了解が成り、同年11月工費約228万円で竣工、通水をみたのである。その後配水管の布設等施設拡充が続けられたが、第2次大戦により資材は不足し建設改良も思うにまかせず、空襲による被害は施設の老朽とあいまって事業運営に重大な支障をきたし、加えて終戦後の復員や引揚者による人口増加は必然的に配水能力の不足を招き、時間給水制限等を行わざるを得ない状態となった。

これに対処するため水源地の確保を主とした第1次拡張工事が行われたが、まず第1期工事として、健軍に水源を求め、工費250万円で昭和25年8月健軍水源地が竣工、1日の配水能力も37,000 $\text{m}^3$ と大幅な増加を示した。

第2期工事として、昭和40年度における給水人口20万人、1日の最大配水量60,000 $\text{m}^3$ を目標とした5カ年計画を樹立、昭和25年8月に着工、一本木及び亀井の2カ所の水源地の新設、立田山配水池の増設等総工費約3億8,209万円を投じ昭和31年11月完工を見た。

引続き昭和46年度における給水人口35万人(当初計画34万5千人)、1日の配水能力103,000 $\text{m}^3$ (当初計画102,000 $\text{m}^3$ /日)を目標とした第2次拡張工事を計画、5カ年継続事業として昭和33年1月に着工、川尻、城山両水源地の新設徳王配水池の新設、立田山配水池の増設及び健軍水源地並びに八景水谷水系の取水井の増設等総工費7億9,800万円をもって昭和37年3月完工した。この事業により北部方面の高台地区並びに急激に発展した東部地区への円滑な給水が可能となった。また未給水地区であった川尻、高橋両地区もそれぞれ給水を開始した。しかしながら今日の急速な水需要は著しいものがあり、これに対処すべく生活環境の整備、産業の振興を柱とする人口60万都市の未来像に向けて、本市マスタープランに沿い第3次拡張工事を計画(内容別記)14カ年継続事業(当初10カ年)として、昭和41年4月着工、現在鋭意工事を遂行中である。

第3次拡張工事計画

第3次拡張工事を行うことにより、本計画開始時における配水能力129,700m<sup>3</sup>より153,300m<sup>3</sup>上回る283,000m<sup>3</sup>の配水が可能となる。

認可年月日	昭和41年2月15日		
期 間	昭和41年4月1日～昭和55年3月31日		
目標年次	昭和55年度		
基本計画	計画給水人口	461,000人	1日最大配水量 283,000m <sup>3</sup>
	1人1日最大配水量	614ℓ	1人1日平均配水量 476ℓ

事業内容

(昭53.4.1現在)

給水区	工 種	工 費	摘 要
北 東 部	取水施設費	477,256	取水井8カ所を設置し、岩倉山に11,250m <sup>3</sup> の配水池を築造し、清水町、楠団地、武蔵ヶ丘団地及び龍田町方面に配水する
	送水施設費	269,230	
	配水施設費	1,008,729	
	計	1,755,215	
北 西 部	取水施設費	162,816	取水井4カ所を設置し、徳王配水池、既設分3,000m <sup>3</sup> と増設分7,500m <sup>3</sup> の配水池にて池田、島崎方面の高台地区一帯へ配水する
	送水施設費	332,044	
	配水施設費	676,062	
	計	1,170,922	
中 部	取水施設費	730,471	取水井8カ所を設置し、既設配水池、既設分22,500m <sup>3</sup> と万日山に5,000m <sup>3</sup> の配水池(西部と兼用)また、別途に7,000m <sup>3</sup> の配水池(南部と兼用)を新設し、旧市街地区の配水の円滑化を図る
	浄水施設費	95,171	
	送水施設費	648,814	
	配水施設費	1,998,278	
計	3,472,734		
東 部	取水施設費	504,730	取水井3カ所を設置し、健軍水源地に24,000m <sup>3</sup> 及び沼山津水源地に18,000m <sup>3</sup> の配水池を築造し、ポンプ圧送にて大江、健軍方面へ配水する
	送水施設費	222,054	
	配水施設費	4,714,133	
	計	5,440,917	
西 部	取水施設費	408,907	取水井3カ所を設置し、城山に2,000m <sup>3</sup> の配水池(新設)及び万日山に5,000m <sup>3</sup> (中部と兼用)の配水池により、中島、小島、松尾、八島団地方面の配水の円滑化を図る
	浄水施設費	38,091	
	送水施設費	66,548	
	配水施設費	489,227	
計	1,002,773		
南 部	取水施設費	244,624	取水井3カ所を設置し、川尻水源地に8,000m <sup>3</sup> の配水池築造と別途配水池7,000m <sup>3</sup> (中部と兼用)により川尻町方面へ配水する
	浄水施設費	52,268	
	配水施設費	656,617	
	計	953,509	
託 麻	取水施設費	314,936	取水井3カ所を設置し、小山山に3,500m <sup>3</sup> の配水池を築造し、託麻町へ配水する
	浄水施設費	271,116	
	配水施設費	1,121,655	
	計	1,707,707	
一般附帯工事費		1,167	
測量設計委託料		78,525	
事務費		1,229,769	
合 計		168,132,38	(内起債額15,676,300)

## 2 事業概要

### (1) 給水普及状況

区分 年度	行政区域内 (A)				給水区域内 (B)				現在給水 (C)	
	人口	戸数	普及率 (C/A)		人口	戸数	普及率 (C/B)		人口	戸数
			人口	戸数			人口	戸数		
48	468,431	139,928	83.7%	86.7%	461,348	138,150	85.0%	87.9%	392,131	121,364
49	477,450	144,372	84.3%	88.9%	470,367	142,594	85.6%	90.3%	402,550	128,344
50	489,561	153,028	86.2%	88.5%	489,030	152,916	86.3%	88.6%	422,081	135,446
51	496,891	155,597	87.0%	91.8%	496,360	155,485	87.1%	91.9%	432,500	142,820
52	504,401	158,783	89.3%	93.5%	503,870	158,671	89.4%	93.6%	450,422	148,485

### (2) 配水量

区分 年度	総配水量	1日最大配水量	1日最小配水量	1日平均配水量	1人1日最大配水量	1人1日平均配水量	最大月の1日平均配水量
48	5,725,976 <sup>m³</sup>	7/16 199,600 <sup>m³</sup>	1/1 11,459 <sup>m³</sup>	156,876 <sup>m³</sup>	515 <sup>ℓ</sup>	404 <sup>ℓ</sup>	187,926 <sup>m³</sup>
49	5,890,941 <sup>m³</sup>	8/19 200,153	1/1 11,959 <sup>m³</sup>	161,396	500	403	187,134
50	6,531,852 <sup>m³</sup>	8/4 221,702	1/1 13,094 <sup>m³</sup>	178,466	543	433	203,398
51	6,646,444 <sup>m³</sup>	8/9 221,150	1/1 13,594 <sup>m³</sup>	182,094	516	424	208,487
52	6,996,697 <sup>m³</sup>	8/1 238,330	1/1 14,499 <sup>m³</sup>	191,690	534	429	217,260

### (3) 有収水量と無効水量

区分 年度	総有収水量	1日平均有収水量	有収率	無収水量	無収率	総有効水量	1日平均有効水量	有効率	無効水量	無効率
48	4,263,402 <sup>m³</sup>	11,680 <sup>m³</sup>	74.5%	468,425 <sup>m³</sup>	0.82%	4,310,245 <sup>m³</sup>	11,808 <sup>m³</sup>	75.3%	1,415,731 <sup>m³</sup>	24.7%
49	4,449,930 <sup>m³</sup>	12,191 <sup>m³</sup>	75.7%	467,112 <sup>m³</sup>	0.79%	4,496,642 <sup>m³</sup>	12,319 <sup>m³</sup>	76.5%	1,382,090 <sup>m³</sup>	23.5%
50	4,901,400 <sup>m³</sup>	13,391 <sup>m³</sup>	75.8%	489,590 <sup>m³</sup>	0.76%	4,950,359 <sup>m³</sup>	13,525 <sup>m³</sup>	76.5%	1,518,294 <sup>m³</sup>	23.5%
51	5,043,303 <sup>m³</sup>	13,817 <sup>m³</sup>	76.0%	544,576 <sup>m³</sup>	0.82%	5,097,761 <sup>m³</sup>	13,965 <sup>m³</sup>	76.8%	1,537,363 <sup>m³</sup>	23.2%
52	5,306,051 <sup>m³</sup>	14,537 <sup>m³</sup>	76.0%	671,663 <sup>m³</sup>	0.96%	5,373,218 <sup>m³</sup>	14,721 <sup>m³</sup>	77.0%	1,606,592 <sup>m³</sup>	23.0%

### (4) 水道管延長

区分 年度	導水管延長	送水管延長	配水管延長
48	7,265 <sup>m</sup>	17,204 <sup>m</sup>	994,065 <sup>m</sup>
49	7,848	18,929	1,069,180
50	8,054	20,065	1,110,012
51	11,727	20,065	1,155,940
52	13,353	20,065	1,215,727

### (5) 口径・用途別給水量及び収入状況

(昭和52年度)

口径・用途別	区分	給水量	構成比	収入	構成比
	mm	m³	%	円	%
一般用	13	317,308 <sup>m³</sup>	5.981	1,905,638 <sup>円</sup>	50.11
	20	350,701 <sup>m³</sup>	6.61	2,327,876 <sup>円</sup>	6.12
	25	459,732 <sup>m³</sup>	8.66	3,508,041 <sup>円</sup>	9.23
	40	345,197 <sup>m³</sup>	6.50	3,373,402 <sup>円</sup>	8.87
	50	330,694 <sup>m³</sup>	6.23	3,218,513 <sup>円</sup>	8.46
	75	351,234 <sup>m³</sup>	6.62	3,565,393 <sup>円</sup>	9.38
	100	169,325 <sup>m³</sup>	3.19	1,712,066 <sup>円</sup>	4.50
	150	742,178 <sup>m³</sup>	14.0	7,822,748 <sup>円</sup>	20.6
湯屋用		17,760 <sup>m³</sup>	0.33	3,859,500 <sup>円</sup>	0.10
共用		15,260 <sup>m³</sup>	0.29	637,100 <sup>円</sup>	0.17
一時用		188,429 <sup>m³</sup>	0.36	3,794,757 <sup>円</sup>	1.00
計		5,306,051 <sup>m³</sup>	100.00	38,025,415 <sup>円</sup>	100.00

水道

(6) 簡易水道

(昭53.4.1現在)

地区	通水開始年月日	水源の種類	配水設備	給水方式	給水戸数	給水人口
平	昭31.8.18	谷間湧水	容量30 <sup>3</sup> m <sup>3</sup> 1池 ろ過池 2池 口径75mm	自然流下式	戸 44	人 198

3 料金及び加入金

(1) 水道料金

昭和52年12月22日改定

昭和53年2月1日実施(簡易水道は昭和53年7月1日実施)

区分 口径 ・用途別	基本料金 (1月につき)	従量料金 (1 <sup>3</sup> m <sup>3</sup> につき)			
		第一段	第二段	第三段	第四段
一般 用	13mm 8 <sup>3</sup> m <sup>3</sup> 以下 400円	9 <sup>3</sup> m <sup>3</sup> 以上	21 <sup>3</sup> m <sup>3</sup> 以上	31 <sup>3</sup> m <sup>3</sup> 以上	41 <sup>3</sup> m <sup>3</sup> 以上
	20mm 8 <sup>3</sup> m <sup>3</sup> 以下 500円	20 <sup>3</sup> m <sup>3</sup> 以下	30 <sup>3</sup> m <sup>3</sup> 以下	40 <sup>3</sup> m <sup>3</sup> 以下	
	25mm 8 <sup>3</sup> m <sup>3</sup> 以下 700円	70円	80円	90円	100円
	40mm 1,800円	1 <sup>3</sup> m <sup>3</sup> 以上 50 <sup>3</sup> m <sup>3</sup> 以下	51 <sup>3</sup> m <sup>3</sup> 以上 100 <sup>3</sup> m <sup>3</sup> 以下	101 <sup>3</sup> m <sup>3</sup> 以上 500 <sup>3</sup> m <sup>3</sup> 以下	501 <sup>3</sup> m <sup>3</sup> 以上
	50mm 4,000円				
	75mm 7,000円				
	100mm 12,000円				
	150mm 25,000円	100円	110円	120円	135円
浴場営業用	150 <sup>3</sup> m <sup>3</sup> 以下 3,000円	151 <sup>3</sup> m <sup>3</sup> 以上 1 <sup>3</sup> m <sup>3</sup> につき			25円
共用給水装置	1戸につき6 <sup>3</sup> m <sup>3</sup> 以下 (基本水量) 200円	基本水量をこえる水量1 <sup>3</sup> m <sup>3</sup> につき			3.0円
一時用	1 <sup>3</sup> m <sup>3</sup> につき240円				
私設消火せん	口径50mm未満20分以内1個1回につき			300円	
	口径50mm以上20分以内1個1回につき			600円	
連合専用給水装置	1戸につき一般用の料金を適用				
簡易水道	一般用の料金により算定				

(2) 共同住宅の料金

昭和52年12月22日制定

昭和53年2月1日実施

料金 口径	基本料金 (1月につき)	従量料金			
		第一段	第二段	第三段	第四段
40mm 未満	8 <sup>3</sup> m <sup>3</sup> に戸数を 乗じて得た量 (基本水量)以下	12 <sup>3</sup> m <sup>3</sup> 以下	13~22 <sup>3</sup> m <sup>3</sup>	23~32 <sup>3</sup> m <sup>3</sup>	33 <sup>3</sup> m <sup>3</sup> 以上
		1 <sup>3</sup> m <sup>3</sup> につき 70円	1 <sup>3</sup> m <sup>3</sup> につき 80円	1 <sup>3</sup> m <sup>3</sup> につき 90円	1 <sup>3</sup> m <sup>3</sup> につき 100円
40mm 以上	400円に戸数 を乗じて得た 額	50 <sup>3</sup> m <sup>3</sup> 以下	51~100 <sup>3</sup> m <sup>3</sup>	101~500 <sup>3</sup> m <sup>3</sup>	501 <sup>3</sup> m <sup>3</sup> 以上
		1 <sup>3</sup> m <sup>3</sup> につき 100円	1 <sup>3</sup> m <sup>3</sup> につき 110円	1 <sup>3</sup> m <sup>3</sup> につき 120円	1 <sup>3</sup> m <sup>3</sup> につき 135円

(3) 加入金

昭和50年9月20日改定

昭和51年1月1日実施

メーター口径	加入金(基準額)
13mm	30,000円
20	60,000
25	90,000
40	300,000
50	540,000
75	1,050,000
100	2,100,000
150	3,000,000

(注) 「共同住宅」というのは、受水槽を設けて、給水を受ける住宅

- 各戸に局で定めたメーターが取付られている場合は、各戸毎のメーター口径に応じた「一般用」の料金を適用
- 各戸にメーターが取付られていない場合は、上記の料金を適用

(注) 増径工事の場合は現在の口径と新口径の差額とする

## (4) 料金収納状況

(昭和52年度)

区分	人員	交 付 額		収 納 額		収 納 率		1人1ヵ月当たり交付額	
		件 数	金 額	件 数	金 額	件数	金額	件数	金 額
委託集金	60	1165870	2,117,318,637	1055557	1,936,162,040	9054	9144	1619	2940,720
整理集金	3	3857	1,459,007.6	3691	1,327,911.9	9570	9101	107	405,280
計	63	1,169,727	2,131,908,713	1,059,248	1,949,441,159	9056	9044	1,547	281,998.5

(注) 昭和42年4月1日委託業務開始

委託先 熊本市練兵町10番1号 株式会社肥後集金センター

委託件数 月平均 97,156件 委託率 100%

委託手数料 徴収1件につき77円 (昭53.4.1改定)

## 4 経営状況

## (1) 収益的収支の推移

(単位 円)

事 項 \ 年 度	48	49	50	51	52
総 収 益	18,170,521.24	19,515,944.82	22,533,435.23	37,496,804.55	39,432,691.48
料 金 収 入	17,557,171.57	18,800,521.2	21,782,773.26	36,455,163.94	38,026,819.47
そ の 他 収 入	613,349.67	715,392.70	750,661.97	1,041,640.61	14,058,720.1
総 費 用	17,347,411.30	24,454,177.66	28,583,406.9	32,461,092.04	37,032,145.62
職 員 給 与 費	8,617,874.39	11,577,244.84	12,964,649.98	13,786,293.84	15,424,003.72
電 力 費	1,390,946.98	2,383,675.28	2,767,477.91	3,519,638.20	4,074,504.69
物 件 費	3,984,731.2	5,487,501.4	5,251,355.7	5,843,936.3	7,637,040.4
減 価 償 却 費	2,111,004.87	2,556,677.13	3,096,757.64	3,775,365.67	4,463,603.46
支 払 利 息	2,497,978.10	4,347,036.60	5,787,962.06	6,643,733.00	7,231,080.64
そ の 他	233,113.84	3,040,792.67	3,441,457.53	4,151,667.70	5,075,249.07
単年度損益	823,109.94	△4,938,232.84	△6,050,005.46	5,035,712.51	24,005,458.6

## (2) 資本的収支の推移

(単位 円)

事 項 \ 年 度	48	49	50	51	52
資 本 的 収 入	1,929,586,247	1,672,656,749	1,435,514,645	2,166,148,833	1,761,284,558
企 業 債	1,810,000,000	1,491,000,000	1,271,400,000	1,783,200,000	1,380,300,000
そ の 他 収 入	119,586,247	181,656,749	164,114,645	382,948,833	380,984,558
資 本 的 支 出	2,417,021,536	2,172,312,915	1,608,410,009	2,267,442,473	2,131,614,849
建 設 改 良 費	2,333,153,780	2,083,526,244	1,499,409,022	2,132,358,869	1,968,323,488
企 業 債 償 還 金	83,867,756	88,786,671	109,000,987	135,083,604	163,291,361
資 本 的 収 支 不 足 額	487,435,289	499,656,166	1,728,953,64	1,012,936,40	370,330,291

## (3) 供給単価及び給水原価

(単位 円/㎡)

事項 \ 年度	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52
供給単価	32.16	32.14	32.27	32.26	32.02	41.18	42.25	44.44	72.29	71.67
給水原価	27.97	28.82	31.58	33.46	35.94	40.07	54.16	57.54	63.56	68.65
損益	4.19	3.32	0.69	△1.20	△3.92	1.11	△11.91	△13.10	8.73	3.02

## 5 職員数及び給与

## (1) 職種別職員数

(昭53.4.1現在)

性別 \ 職種別	特別職	事務職	技術職	検針	その他	計
男	1	84	199	31	4	319
女	0	22	0	0	0	22
計	1	106	199	31	4	341

## (2) 職種別1人月平均給与額等

(昭53.4月分)

事項 \ 職種別	特別職	事務職	技術職	検針	その他	計
基本給(円)	410,300	229,746	214,764	188,887	256,975	218,779
特殊勤務手当(円)	0	6,516	8,922	10,335	6,000	8,266
超過勤務手当(円)	0	6,807	20,579	5,092	19,427	14,860
その他の手当(円)	0	7,770	8,060	8,966	6,375	8,063
合計(円)	410,300	250,839	252,325	213,280	288,777	249,988
年齢(才)	56.3	45.8	42.5	36.9	54.7	42.8
勤続年数(年)	2.3	2.15	1.76	1.33	2.13	1.84

(注) 合計欄は特別職を除く

## 6 施 設

### (1) 水 道 施 設

(昭53.4.1現在)

名 称		竣工年次	施設能力	施 設 内 容		
水 源 地	八景水谷	大14. 3	25000 m <sup>3</sup> /日	浅井2本	深井2本	ポンプ8台
	健軍木	昭25. 12	92000		14	16
	一本	27. 11	16000	1	3	6
	亀井	30. 3	8000	1	3	6
	川尻	36. 9	9000		2	6
	城山	38. 3	11,000		4	6
	沼津	46. 2	40000		7	9
	麻生田	44. 3	32000		7	9
	託麻室	45. 11移管	5000		4	8
	山池上	50. 3	8000		2	4
		51. 3	10,000		4	7
配 水 池	立徳田山	大14. 3	22500 m <sup>3</sup>	鉄筋コンクリート造り		
	城王	昭35. 3	10500			5池
	託山	38. 3	2,630			3
	岩倉山	45. 11移管	500			2
	川尻	47. 3	7500			2
	健軍	47. 3	1,440			3
	万日山	49. 5	24000			2
		51. 1	5000			2
加 圧 ポ ン プ 所	花岡山	35. 8	30 m <sup>3</sup> /時	ポ ン プ		
	大窪	36. 10	96			2台
	島崎	38. 6	72			2
	長迫	39. 9	54			2
	立田山	40. 3	1,500			2
	岩倉山	40. 3	11			2
	高平	40. 8	96			2
	万日	41. 9	84			1
	上尾	43. 6	12.6			2
	谷尾崎	44. 3	132			2
	つじヶ丘	44. 10	21			1
	本妙寺	47. 12	75			2
	託麻	49. 6	33.6			2
	本妙寺第2	49.	252			2
水 質 検 査 室		49. 5	水 質 分 析 器 機 一 式			
水 道 記 念 館		49. 6	展 示 物 2 0 0 余 点			

(注) 施設能力欄中 水源地……取水最大能力 配水池……容量 加圧ポンプ所……揚水量を示す

### (2) 局 舎

所在地	熊本市水前寺6丁目2番45号	構造	鉄筋コンクリート、地下1階、
敷地面積	9,344 m <sup>2</sup>		地上3階、塔屋1階
建物面積	延3,480 m <sup>2</sup>	施工	龍建設株式会社
着工	昭和37年12月28日	総工費	190,621千円
竣工	昭和38年12月20日		

水道

